

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業所が併設されているため卒業後の進路についてイメージが持ちやすく、進路先として選択することもできる。	高等部では作業所で行っている作業を体験させている	行事等で作業所の利用者と交流する機会を増やしていく 作業所の見学会を企画したり、個人的な見学希望にも応じていく
2	本館、分室と2室に分かれているため、高学年、低学年で利用者を分け、年齢に合ったカリキュラムに落ち着いて取り組むことができる。	分室は養護学校中学部、高等部の生徒と限定することでほぼ同一の日課となり、少人数の職員で効率的に支援を行っている。	利用者同士の相性なども考慮し、より落ち着いた環境作りを心掛けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人数が多いとはいえず、一人ひとりに合わせた手厚い支援が行き届かない時がある。	職員の募集をしているが人材難という社会課題がある。	職員の待遇等、職場環境の改善を図っていく
2	各部屋の面積は広いが個室がなくパニックのような緊急時の支援が難しい。	作業所の建物を用途変更して使用しているので、個室は設置していない。	建物構造を変更するのは予算的に難しい。パーテーションなどの利用や、作業所との共有スペースの借用等で補っていく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 令和8年2月13日				利用児童数 令和8年2月1日 15名	回収数 15名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				それぞれのびのび活動できている		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				2	ずっきりとした空間で過ごしやすいよう 元々作業所の建物なのでバリアフリーになっ ているが、児童に合わせた設備を更 に導入していく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15						
適 切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				特性を理解してくれているためマイナ スのことを言われたことがない	行動の背景にある特性や状況に目を向け るよう配慮している。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				1	就労に向けた体験作業も取り入れられ ており将来に向けた支援を考えられる 関わりをしてくれている。	作業所が併設されている強みを生かし、 卒業後の将来像を描きやすいようにして いる。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				1	季節の創作イベントなど工夫されてい る。	季節感を大事にし、年間を通してイベ ント等企画している。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3			2	10	機会があるか目にするのではないの で分からない。 必要性が分からない。学校で機会があ るので十分	コロナ禍以降、児童館を訪れる機会が なくなりました。学校休業日に交流の 機会を設けるようにしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1			5	作業所見学など保護者会活動としてげ ひお願いしたい。	個人的な見学は常時行っているが、保 護者の交流も目的として、見学会を企画 する。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1			6	コロナの影響で保護者会は今のところ なく全員の保護者で集まったことはな ない。家族も参加できる機会の一部の 保護者との交流ができた。	全体保護者会となると希望の時間バラ バラなため、親子参加型の行事や作業 所見学を絡めた形態で交流を企画してい る。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				1		
	20 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					連絡ノートを毎日書いてくれていま す。	連絡ノートは全員毎日書いているが、迎 えに来た保護者には口頭でも満足しな がら意思疎通を図っている
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1				業務のごとまで細かく発信していま す。	法人の広報誌（年6回）、事業所の広 報誌（年4回）で発信している。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				1			
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9				6	訓練は分からない	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8				7	訓練は分からない	訓練については広報紙や連絡ノート等 で積極的に周知していく。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1	3	周知されていない。	ホームページ上で掲載されていること を周知していく。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15						事故等は無いにこたえたことはないが、起 きしまった際には迅速に連絡するよう にしている。
満 足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	15						
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				楽しみで吹雪でもいきます。		
	29 事業所の支援に満足していますか。	15				分室で過ごすことで安心して過ごせて います。いつもありがとうございます。 す。	分室は高学年、本館は低学年と場所を分 けることで利用児が落ち着いて過ごせ るよう配慮している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アトリエ		公表日		令和8年 2月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		面積的としては十分だが、完全な個室はなく、パーティション等で仕切りをしている。分室と本館の利用児の配属等	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			基準は満たしているが、利用児の状態によっては支援が行き届かない部分がある。運営面を脱みながら支援員増を検討する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	パーティション等で仕切りを設置している。	クールダウンのために別室の確保については改装が必要であり法人全体の予算を見ながら検討していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	十分な面積の2室が利用できる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	緊急時は作業所との共有スペースを利用することができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員で回覧し、尚ミーティングにて共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	利用児の通所前の時間帯の研修はなるべく参加するようにしている。	職員数がギリギリのため、一日がかりの外部研修受講は難しい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2		パートも含めた全職員によるミーティングの時間が不十分と感じる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		4	いつもと違う点などは翌日に情報共有している。	可能な限り、支援当日に振り返りを行う。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		お便りにより日程希望を取っているが、ショートメールなども活用し、日程調整がスムーズにいくようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4			
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	他事業所、自治体等からの研修の案内は保護者へ配布している	今後、当法人主催の研修も企画していく	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	作業所の利用者とは合同で行い防災意識を高めている	訓練は行っているが保護者への周知は十分ではない。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	不十分と思う	H P上に掲載していることの周知が不十分であり、事業所全体で共有していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	不十分と思う	H P上に掲載していることの周知が不十分であり、事業所全体で共有していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			